
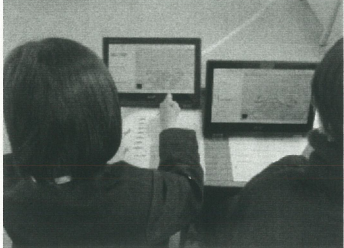





実施結果報告書

1. 学習名称：公共交通機関を実際に利用して、岡山県の交通網の広がりの特徴を知ろう。					
2. テーマ：公共交通機関を実際に利用して、岡山県の交通網の広がりの特徴を知ろう。					
3. 実施教科：総合的な学習の時間					
4. 関連単元：社会科 わたしのまち みんなのまち 市のうつりかわり わたしたちの県					
5. 実施単元数：11 時間					
6. 学年	3・4 学年	7. クラス数	2	8. 生徒数	22 名
<p>9. 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2 / 27 (月) に事前指導として、わたしたちの市や県の交通網の広がりについて google map を活用し、調べ学習を行った。各公共交通機関の速さや金額の違いについて学習した。 ○ 3 / 3 (金) の事前指導では、実際に体験学習において搭乗する公共交通機関について調べたり、搭乗時間や乗車金額について予想を立てたりした。 ○ 3 / 7 (火) 交通環境学習として、市営バス、JR 線、新幹線、タクシーを利用した。公共の乗り物に実際に乗り、その乗り物の良さを体感する学習を行った。 ○ 3 / 8 (水) 10 (金) 15 (水) に事後学習として、自分たちが体感したことをまとめたり、気になったことを調べたりしたことを各班で模造紙にまとめた。 ○ 3 / 15 (水) から、校内に模造紙を掲示した。 					

10. 学習のながれ：

時数	学習内容	使用教材
第1時	<p>1 単元全体の流れとめあてを知る。</p> <p>2 みんなが知っている乗り物について発表し合い、知る。(・自家用車・バス・タクシー・船・飛行機・電車・新幹線など)</p>  <p>3 学校から大阪府の USJ まで行くためには、どんな手段があるのか調べ発表する。</p> <p>4 3の活動で出た新幹線・電車・バス・車などを使った場合の移動時間や必要な金額などをインターネットで調べ、それぞれの乗り物の速さや時間の特徴を理解する。</p>  	<p>○Google map</p> <p>○ワークシート①</p>
第2時	<p>1 3/7(火)の校外学習で、実際に公共交通機関で移動するルートを知る。</p> <p>3 班ごとに「林野駅～姫路駅」「姫路駅～岡山駅」「岡山駅～東岡山駅」の移動にかかる時間を予想する。</p>   <p>4 班ごとに役割を決め、校外学習でのルールやきまりを確認する。</p>	<p>○ワークシート①</p>

【校外学習日】

1 校外学習へ出る前に、教室にて切符の使用方法の確認をする。特急券についての使用は初めてで、乗り換え改札口を利用するため、切符を重ねて入れる練習を行う。

○メモ帳

○腕時計

2 班の中で役割を決め、班活動での自分の役割について責任感を持たせる。

- ・班長 (班のメンバーの統率)
- ・副班長 (班長のサポート)
- ・救護係 (班の健康状態の把握)
- ・時計係 (乗車時間を計測)
- ・メモ係 (気がついたことや、時計係と連携して、事後学習の為に必要なメモを取る)

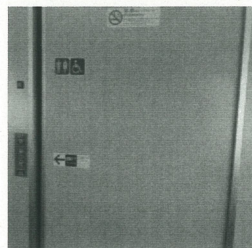
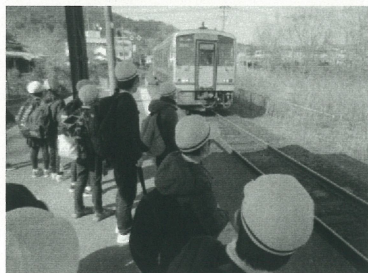
3 林野駅までバスで移動。

日頃から利用しているスクールバスから利用し、他の公共交通機関と比較する基準とする。

4 林野駅から姫路駅まで、電車で移動。

- ・自分たちが住んでいる地域の中で、一番最寄りの駅からどこへ行けるのか、交通網の広がりを確認する。
- ・距離や時間としてどの程度なのか体感し、新幹線での移動と比較する材料とする。
- ・電車の快適さについて考える。(トイレの設置、優先席、緊急停止ボタン等)


第3時
第4時
第5時
第6時
第7時
第8時



5 姫路駅では、本時の活動 1 で練習した乗り換え改札口を利用する。また、公共交通機関は自分たちが遅れても待ってくれない事を踏まえ、時間内に乗り換えを行う活動を通して、学校生活の中で時間を守ることに必然性を再認識する。



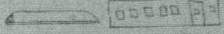
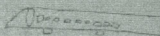
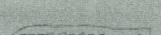
- 6 姫路駅から岡山駅まで、新幹線で移動。
- ・本時の活動 4 での体験を踏まえ、新幹線での移動の速さと利便性を体験する。
 - ・新幹線の快適さについて考える。(揺れの少なさ、自動ドア、トイレの数、シートの乗り心地、シートに付属するテーブル等)
- 7 岡山駅から東岡山駅まで、それぞれの班で公共交通機関を利用し、体験する。
- ①市営バスで移動
- ・金額が安い、たくさんの停留所に止まるため、時間がかかる。
 - ・鉄道が走っていないところへ行ける。
- ②タクシーで移動。
- ・どこでも好きなところで乗降が可能。
 - ・金額は高い。
 - ・自分たちしか乗らないため、必ず座れる。
- ③電車で移動。
- ・安くて早い。
 - ・駅があるところにしか停まらない。
- 8 東岡山駅から英田小学校まで、観光バスで移動。
- ・自分たちしか利用しないため、寝たり、DVDを觀賞したり、ある程度自由に過ごせる。
 - ・事前に予約が必要。

時数	学習内容	使用教材
第9時 第10時 第11時	1 校外学習での気づきや分かったことを表 する。 【児童の発言】 「乗り物によって乗り方が違う」 「電車と新幹線で止まる駅の数が違う」 「新幹線の方が席が広い」 「電車は(バスとタクシーと比べて)早い」 「バスは(電車とタクシーと比べて)遅い」	○図鑑 ○画用紙 ○タブレット
	2 グループで相談し、1 の活動で出たこと や、より詳しく調べたいことの中から、 テーマを1つ決める。	
		
	3 2 の活動で決まったテーマについて、図 鑑やインターネット、校外学習でのメモ 帳を活用し、詳しく調べる。(グループ活 動)	
	4 調べて分かったことを中心に、言葉や絵 などを使って、模造紙にまとめる。(グル ープ活動)	
5 4 の活動で作成したものを校内に掲示す る。		

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

乗り物いろいろランキング

メンバー 4年 田中(4人)中(4人)小(4人) 河野 山田 山田 戸田 松本 猪本 林

金がかかるランキング	
1 電車 (子ども1100円)	
2 バス (子ども1120円)	
3 タクシー (1台4人3200円)	

速さランキング	乗りこごちランキング
1. 電車 (約14分)	1. バス
2. タクシー (約15分)	2. タクシー
3. バス (約28分)	3. 電車

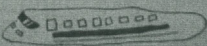
新かん線はなぜゆれが少ないのか

メンバー: じよ: 中: 北: 南: 北: 南

私たちは、電車と新かん線に乗って電車より新かん線はゆれが少なくて乗りこごちがいいことに気づきました。

ゆれを少なくする理由を調べました。

1. ゆれを少なくするそうちがある。
2. つばき目が少ない ロングレール を使っている。
3. うしろのカーブをゆるくしてある。
4. うるさい音を少なくする パンタレール を使っている。



電車はなんで安いのにはほかの乗り物よりも早いのか。

(予想)

電車はしん号がないけどバスやタクシーはしん号があるからずこいぞい。

安さの(予想)

電車の乗る全かくが高かたたらね乗らなくなるから

早さの(ほか)

バスやタクシーよりも早目でま地に着いた

安さの(ほか)

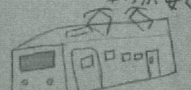
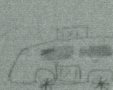
バスやタクシーよりも一番安さかた

(分かったこと)

本町はバスの方が安いけど国や県から補助金が出ているから電車のが安くなっている

メンバー

星	菜
梨	緒
奈	如
輝	輝
陽	輝
輝	輝
輝	輝

新かん線と電車のひみつ

メンバー: 知歩・幸正・心寧・埴・敬次・雅章

カーブがゆるやか

カーブが多いと遠くまでいって新かん線のようにカーブはゆるやかなのでゆれが少なくていい。

人は立ち入れない

→ 電車の車窓はガラスで覆われていて、人が立ち入れない。新かん線はガラスで覆われていないので、人が立ち入れやすい。

信号がない

→ 新かん線には、20秒おきに信号があり、新かん線は、信号を20秒おきに点滅させて、運転士に知らせる。

なぜ電車は新かん線のように上を走らないのか?

電車はよくゆれがはじいので上を走らない。

まとめ

- ・音が静か
- ・乗りこごちが良
- ・バスと電車と新かん線では一番良かった。

児童が作成した発表資料